

令和7年7月28日

令和7年

第7回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和7年7月28日（月曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小黒仁史	教育長
三留利夫 委員	教育長職務代理者
高橋幸子 委員	
深澤佳己 委員	
北内英章 委員	
藤井大吾 委員	

2 出席職員（12名）

教育総務部長	今井健太郎
参事（教育施設担当）	河原田光
教育総務課長	鈴木孝司
教育施設担当課長	小野澤行平
副参事（教育地域力担当）	齋藤恵介
副参事（教育施設調整担当）	小池武道
学務課長	八木弘樹
指導課長 （幼児教育センター所長 兼務）	木下健太郎
指導企画担当課長	志賀克哉
学校支援担当課長	長岡誠
教育センター所長	早田由香史
大田図書館長	杉村由美

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

(午後 2 時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和 7 年第 7 回大田区教育委員会定例会を開会いたします。
本日は、傍聴希望者がおります。
委員の皆様は傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により、公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は定足数を満たしておりますので、会議は成立しています。

まず、会議録署名委員に高橋委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。
続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第 1 は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私から 3 点報告いたします。

1 点目は、7 月 10 日に行われました洗足池小学校と東京科学大学留学生との交流会についてです。洗足池小学校は、東京科学大学の近くに位置しておりまして、東京工業大学の頃から留学生交流、国際教育ということで進めてきました。

当日、東京科学大学のホールに 6 年生が行って、東京科学大学の留学生からホールでそれぞれの国の文化、歴史、日々の生活についての発表がありました。パネルがあり、そこに留学生が行って話を聞く、というような交流がございました。留学生の方は、いわゆる国費で来ている留学生だと伺っております。それぞれパネルで留学生が、洗足池小学校の 6 年生に日本語で文化などを伝えるような内容でした。

国際社会は様々な文化、歴史があって、その様子に触れる良い機会になっていたと思われました。こどもたちも一生懸命コーナーに行き、説明を聞き、質疑をしていました。留学生も、にこやかに日本語で説明していました。

大学の先生方もいて、この交流を進めているところで、洗足池小学校との交流は、留学生にとっても、とても良い機会だと言っていました。留学生も日本語でこどもに説明する

となると、しっかりと勉強しなくてはという意識になるのか、私が聞いたところによると、流暢に丁寧に説明していました。そういった意味でも、留学生にとっても良い機会であったとのことでした。

かつて洗足池小学校で新型コロナウイルス感染症が流行していた頃、留学生が日本に來られない時期があり、そのときはタブレットを使って通信し、洗足池小学校のこどもが留学生に、学校の紹介などを、映像を撮りながら説明していました。

そのとき、英語を一生懸命使っていて、こどもたちが、頑張っで英語で説明しているなと感じましたが、留学生にとっても日本のこどもたちに説明すると、お互い非常に良い関係を築けるようでした。

洗足池小学校のこどもたちは、いずれ卒業しますが、小さい頃から交流活動に触れていて、非常に国際性が高まっており、洗足池小学校の東京科学大学に近接しているという、地域の良さを活かしながら、国際理解に大変良い活動だと感心いたしました。

2点目のご報告は、7月14日に館山さざなみ学校へ、施設やこどもの活動を視察に行っでまいりました。館山さざなみ学校は、現在は13名のこどもたちが在籍しておりますが、授業の様子や食事の様子を見させていただきました。体育館が夏季にかなり暑くなることで、状況を見せていただきました。今年度は4日間ぐらい、暑さの指数により使用できない状態にあったようです。

こどもたちは、食事をとっているとよくお話をし、食事量もかなりあったように思っでます。運動量もかなり多いと思っでました。しっかり運動して、体を動かすことが食欲につながって、生活の改善につながっていくと感じました。

3点目の報告は、先週の土曜日、馬込地区の盆踊り大会が貝塚中学校で行われましました。そこに行っで目的は、馬込第三小学校のこどもたちが、おおたの未来づくりの教科で、この盆踊り大会を盛り上げるために、いろいろなコーナーを作ったり、飾りを作ったり、積極的に参加していると同ったので、実際の様子を見に行きました。

貝塚中学校の校庭は、大変にぎわっていて、貝塚中学校も太鼓部の生徒が一生懸命披露してましました。最近、地域のお祭りにこどもたちがなかなか集まらないことで、苦勞されている地域もあると聞いていますが、こどもたちが積極的に打ち合わせをしたり、コーナーを作ったり、しっかり活動している様子が見受けられましました。盆踊りも、屋台を立てて周辺を踊ってまましたが、踊りも練習したそうです。

盆踊りにもこどもたちが、たくさん参加して、地域を盛り上げるよう頑張っでましました。地域行事などに授業を通して参加することの良さがあつたと思っでおります。そういった意味で、良い取組が行われていると思っでました。

私からの報告は以上でございませう。

何かほかにご質問・ご意見がありましたら、お願いいたしませう。

○三留委員

私からは、7月1日の馬込第三小学校の指導訪問に同行いたしませましたので、私なりの所感を述べさせていただきます。

指導訪問につきましては、私は、東調布中学校、田園調布小学校に続いて3校目の参加でしたが、校長との懇談、3時間分の授業参観、全体、分科会の全てに参加いたしませました。

私のほかにも、今回、2名の教育委員が参加いたしました。

私からは、今回、同行して、改めて感じた良い方向に進んでいると思ったことについて3点、簡単に述べさせていただきたいと思います。

1点目は、授業の学習方法、形態等に工夫が見られるということです。多くの教師が、全体的に児童・生徒の主体性を促す授業改善を進めていたと思います。指導課の示している「授業改善ツール」の影響もあると思いますが、一人一人の児童が、課題意識をもって取り組んでいたように感じました。

講義・説明型の授業ということではなく、学級の実態に沿って、ペアやグループ活動を積極的に取り入れ、多様な資料を示して意見を出させ、交流するなど、様々な授業の様子が見られました。学校訪問等の働きかけにより、各校授業改善が進んでいると感じました。

2点目は、指導訪問の際の分科会が充実しているということです。一つの分科会で検討する授業は、3校時、4校時、5校時の3時間にわたっていて、同じ分科会の教師が相互参観して、分科会に参加できるという利点もあります。

分科会の参加人数は、多くて6人程度でした。少ないところでは2、3人で、その分一人一人の教師の授業について、時間をかけて丁寧に扱うことができます。

講師は、指導主事、専門員、有識者となっていて、それぞれに一人一人の教師の授業のよさの価値付けと今後の課題についてしっかり示していました。

各校の教師にとっては有意義な機会で、これが毎年行われるようになったことで、大田区の教師、学校全体で指導力が向上していくのではないかと期待しているところでございます。

3点目は、学校に様々な人材が入ってサポートしているということを実感したことです。担任以外の児童・生徒に対する指導者が、各クラスに常時存在しているということです。3年生までにつく授業補助員、特別支援教育に関わる支援員、ICT支援など、ほとんどの学級に担任以外の指導者がいるのが当たり前になってきました。外国語活動には、担任のほか、ネイティブスピーカーがほとんどの授業についています。事務に関わる補助員も増えてきています。

私が担任を始めた頃は、45人学級で高学年に専科教員がいたものの、担任一人で学級事務等を含め、ほとんど学級のことをしておりました。このことから考えると、今の学校の指導体制については、隔世の感がございます。

こどもたちの状況も多様化が進んでいることも事実で、多くの目・手でこどもを育てていくことも、これからは大切と思いました。複数の教員・指導者でこどもを育てる「チーム学校」の取組に期待しているところでございます。

また、小学校は、随時35人学級が進み、6年生まで35人学級となりました。中学校も、暫時35人学級が進んでおります。多様な人材の授業参加により、一人一人に対応するきめ細かな指導が進むことを願っております。

○教育長

ありがとうございます。

ほかに。

○高橋委員

私も指導訪問に参りました。6月30日に開桜小学校、7月1日は馬込第三小学校に同行いたしました。両校とも学級数の多い学校でしたが、学習指導案を作成し、工夫された授業を参観させていただきました。

馬込第三小学校は、校舎改築のためプレハブ校舎でしたが、機能的な作りで、とてもすばらしい校内になっておりました。

全体会・分科会では、これからの授業見直しのきっかけになる指導・助言があり、有意義な訪問になったと考えます。

7月は、社会を明るくする運動の強調月間です。地域社会の連帯や家族の絆を深め、非行防止や健全育成の啓発に力を入れています。各地区ごとに集会を行い、7月19日には、アプリコで大田区民の集いが開催されました。

第1部の中学生意見発表では、大森第八中学校、馬込東中学校、馬込中学校の生徒の発表があり、身近な問題を考えるきっかけと捉え、それぞれの思いを話してくれました。

第2部では、アトラクションですが、初めて羽田・糀谷、出雲中学校の吹奏楽による合同演奏があり、一緒に参加するというのは、3校が集まるということでも、大変だったと思いますが、大変良い演奏になっていました。

○教育長

ありがとうございました。

ほかにございますか。

○北内委員

先日、7月20日に選挙がありました。私は、そのとき立会人をいたしました。PTA会長だったときに小学生だったこどもたちも成長して、投票に来てました。こどものときの面影はあるのですが、当然、成長していて驚きました。

20時に投票が締め切られ、開票会場に票を運びました。その日は、朝6時半から夜9時半まで、長い1日だったのですが、地域のこどもたちの成長を見られた良い日だったと思いました。

次に、夏休みに入って、各地で夏休みわくわくスクールやラジオ体操が開催されていると思います。PTAの皆さん、おやじの会、先生・地域の方々、ありがとうございます。私も地域の神社で開催されているラジオ体操に参加しました。朝6時半のラジオ体操の時刻に合わせて、こどもたちが走って境内に来ます。

老若男女、皆さんが、体操をしました。朝は、まだ比較的暑くない時間帯ですが、それでも、体操が終わると汗だくになります。

体操は、先生が前に立ってやってくれます。先生は、プロダンサーでプロデューサーでもあり、シンガーソングライターもされている方で、素晴らしい体操でした。このように、地域の人たちがつながって、こどもたちを地域で育てているということができていると思いました。これは、大田区の素晴らしいところの一つだと思います。この伝統・文化を引き続き、次の世代に伝えていきたいと思っています。

○教育長

ありがとうございました。
ほかにございますか。

○藤井委員

非常に暑い日が続いています。昔、我々がこどもだったときとは紫外線の量も気温もだいぶ変わってきています。今、熱中症が問題になり気温と湿度から警報が出ます。外でこれをやってはいけない、あれをやめましょうという話になります。実際には体調が悪い、特に胃腸炎などになっている場合に外で何か行動すると、途端に具合が悪くなって、熱中症と言われることもあります。

胃腸炎の症状というのは、熱が1日だけ出る、頭が痛くなる、それから、吐き気、腹痛、下痢とか、むねやけ等です。また、足腰がだるい、痛いという症状と、立ちくらみという症状が出ます。まるで熱中症のような症状です。

ですから、体調のあまり良くないこどもに関しては、外での活動等、熱中症により注意して、病気と熱中症と合わさるとすぐに症状が出るので、この暑い時期に関しては、体調が悪いこどもの活動に関しては、十分な目配りをする必要があると思っています。

それから、気温もそうですが、紫外線の量も増加傾向で最近では、暑すぎるからプールに入れないということもあると聞いております。

今は、プールに入るときに紫外線を少し軽減するための、いわゆる日焼け止めを塗ってはいけないということになっているようですが、何らかの形の紫外線対策も必要かと思えます。よしずでも、テントや屋根、簡易的な方法でもいいので、紫外線から防備しながらプールはなるべく存続するべきものだと思います。

○三留委員

よしずは、やっている学校は結構ありますよね。

○藤井委員

あります。

○三留委員

それから、今、お話を聞いて、ラッシュガードといったものを着せて行っている学校はありますか。

○藤井委員

あります。

○三留委員

そうですね。

○三留委員

そういったことは、積極的に取り入れた方が良いでしょう。

○藤井委員

そうですね。

○三留委員

やるといいかなと思います。

○藤井委員

泳げるかどうかというのは、やはり命に関わることでもあるし、その後の人生に大きな影響があると思いますので、泳ぎの教育が続けられるようにしていくよう考えていく必要があります。

○教育長

よろしいですか。

それでは、他にご意見がないようでしたら、本日は、これをもちまして、令和7年第7回の教育委員会定例会を閉会いたします。

令和7年 第7回 教育委員会 定例会 7月28日(月) 午後2:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（教育施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和7年7月28日

令和7年第7回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項